



報道発表資料の配付日時 9月2日(木) 15時00分

| | | | |
|------------------|---|------|--|
| 発表項目 (行事名) | 令和2年度(2020年度)北海道観光入込客数調査について | | |
| 記者レクチャー のお知らせ | (実施日時) | 発表者 | |
| | | 発表場所 | |
| 概要 | <p>○ 本調査は、令和2年度(2020年度)の観光入込客数や訪日外国人来道者数などを把握し、道の観光振興施策を進める上での基礎資料とするほか、市町村や観光事業者の方々などに広く活用していただくため、作成したものです。</p> <p><配布資料> 「令和2年度(2020年度)北海道観光入込客数調査報告書」</p> | | |
| 参考 | | | |

| | | | |
|-----------------|---|------|--|
| 報道(取材)に当たってのお願い | ○ 道民の皆様や観光関係団体、観光事業者の方々に、幅広く活用していただけますよう、積極的な報道をお願いします。 | | |
| 他のクラブとの関係 | 同時配付 | (場所) | |
| | 同時レク | | |

| | | | |
|-------------|--|--|--|
| 担当 (連絡先) | 経済部 観光局 観光振興課 【観光企画】(担当者:柳川) TEL ダイヤルイン 011-206-6596 内線:26-591 | | |
|-------------|--|--|--|

北海道観光入込客数調査報告書

令和2年度（2020年度）

令和3年（2021年）9月

北海道経済部観光局観光振興課

北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

1 北海道観光入込客数調査について

本調査は、観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に準じて平成22年度に道が改正した「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、観光入込客数などを推計したものです。

2 調査内容

(1) 観光入込客数（実人数）

市町村が行う観光地点等入込客数調査、道が行う観光地点パラメータ調査及び観光庁が提供する宿泊観光入込客数などのデータなどにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えます。

訪日外国人来道者数（実人数）については、日本政府観光局（JNTO）の訪日外客数や訪日外客訪問地調査などにより推計した北海道を訪れた外国人の実人数

(2) 観光入込客数（延べ人数）

各市町村の観光入込客数を集計した観光入込客数の延べ人数

延べ人数：市町村の実人数の単純合計

（1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合は、5人と数えます。）

(3) 観光消費額単価

全道16カ所の観光地点における聞き取り調査をもとに、道内客、道外客、外国人について、「観光」、「ビジネス兼観光」別に算出した観光消費額単価

3 利用上の留意事項

各数字は、四捨五入のため合計が合致しない場合があります。

Ⅰ 観光入込客数（実人数）

1 概況

令和2年度（2020年度）の観光入込客数は、国の「Go Toトラベル」や道の「どうみん割」、市町村独自の宿泊助成キャンペーン等による効果もあり、7月以降は、旅行需要の回復傾向が見られましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行、拡大が響き、全体で3,338万人（前年比▲36.7%）と大きく減少し、現在の基準で統計を開始した平成22年度以降、人数は過去最低、減少幅は過去最大となりました。

2 道内客・道外客・外国人別

道内客は3,123万人（前年度比1,318万人減、▲29.7%）、道外客は215万人（同377万人減、▲63.7%）となりました。なお、外国人については、観光客に対する入国拒否等の措置を講じていることから、0万人（同244万人減、▲100.0%）となっています。

3 日帰り客・宿泊客別

日帰り客は2,629万人（前年度比897万人減、▲25.4%）、宿泊客は709万人（同1,042万人減、▲59.5%）となりました。

4 四半期別

四半期別にみると、第1四半期が828万人（前年度比752万人減、▲47.6%）、第2四半期が1,353万人（同722万人減、▲34.8%）、第3四半期が601万人（同269万人減、▲30.9%）、第4四半期が556万人（同197万人減、▲26.1%）となりました。

<令和2年度(2020年度) 観光入込客数(実人数)>

| 区 分 | | 日帰り客 | 宿泊客 | 計 | 前年度比 | 構成比 |
|-------------------|-----|---------|-------|---------|---------|--------|
| 第1四半期 (4~6月) | 道内客 | 766万人 | 52万人 | 818万人 | ▲39.9% | 98.8% |
| | 道外客 | 1万人 | 9万人 | 10万人 | ▲93.5% | 1.2% |
| | 外国人 | — | 0万人 | 0万人 | ▲100.0% | ±0.0% |
| | 合 計 | 767万人 | 61万人 | 828万人 | ▲47.6% | 100.0% |
| 第2四半期 (7~9月) | 道内客 | 1,093万人 | 167万人 | 1,260万人 | ▲29.8% | 93.1% |
| | 道外客 | 3万人 | 90万人 | 93万人 | ▲56.1% | 6.9% |
| | 外国人 | — | 0万人 | 0万人 | ▲100.0% | ±0.0% |
| | 合 計 | 1,096万人 | 257万人 | 1,353万人 | ▲34.8% | 100.0% |
| 第3四半期 (10~12月) | 道内客 | 375万人 | 153万人 | 528万人 | ▲21.3% | 87.9% |
| | 道外客 | 4万人 | 69万人 | 73万人 | ▲47.9% | 12.1% |
| | 外国人 | — | 0万人 | 0万人 | ▲100.0% | ±0.0% |
| | 合 計 | 379万人 | 222万人 | 601万人 | ▲30.9% | 100.0% |
| 第4四半期 (1~3月) | 道内客 | 385万人 | 132万人 | 517万人 | ▲15.9% | 93.0% |
| | 道外客 | 2万人 | 37万人 | 39万人 | ▲54.1% | 7.0% |
| | 外国人 | — | 0万人 | 0万人 | ▲100.0% | ±0.0% |
| | 合 計 | 387万人 | 169万人 | 556万人 | ▲26.1% | 100.0% |
| 合 計 | 道内客 | 2,619万人 | 504万人 | 3,123万人 | ▲29.7% | 93.6% |
| | 道外客 | 10万人 | 205万人 | 215万人 | ▲63.7% | 6.4% |
| | 外国人 | — | 0万人 | 0万人 | ▲100.0% | ±0.0% |
| | 合 計 | 2,629万人 | 709万人 | 3,338万人 | ▲36.7% | 100.0% |

II 観光入込客数（延べ人数）

1 総数

市町村における観光入込客数を合計した総数（延べ人数）は、8,106万人で、前年度に比べて43.7%の減少となりました。

また、宿泊客延べ数の合計は、1,830万人泊で、前年度に比べて49.5%の減少となりました。

2 圏域別

圏域別の観光入込客数（延べ人数）及び宿泊客延べ数を見ると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全道域で前年度に比べて大きく減少に転じました。

一方で、複数の市町村においては、キャンプ場やスキー場など、3密（密閉・密集・密接）が避けられる屋外施設の集客が好調となるなど、コロナ禍における特徴的な動きも見られました。

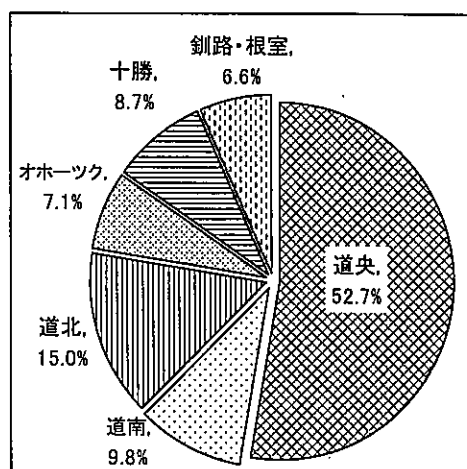
なお、各圏域の観光入込客数の特徴は次のとおりです。

| | |
|--------|--|
| 道央圏 | 「民族共生象徴空間（ウポイ）」（白老町）のオープン、「三笠ジオパーク」（三笠市）のツアー参加者がジオパーク認定後最多となったことによる観光客の増加があったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、圏域では前年度比45.9%減となりました。 |
| 道南圏 | 道の駅を中心とした観光施設や、「岩部クルーズ」（福島町）の乗船料無料化等による利用客の増加があったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、圏域では前年度比39.9%減となりました。 |
| 道北圏 | 「道の駅るもい」（留萌市）のオープンによる観光客の増加があったものの、主要観光施設の利用客が減少するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、圏域では前年度比46.1%減となりました。 |
| オホーツク圏 | ビーチ・アビエーションの新規定期路線（女満別—成田）就航や、「錦仙峡」（滝上町）のCM効果による観光客の増加があったものの、冬期観光の目玉である流氷ツアーの参加者が減少するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、圏域では前年度比34.0%減となりました。 |
| 十勝圏 | 「道の駅かみしほろ」（上士幌町）のオープン、ガーデンスパ十勝川温泉（音更町）が道の駅としてオープンしたことによる観光客の増加があったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、圏域では前年度比31.1%減となりました。 |
| 釧路・根室圏 | ビーチ・アビエーションの新規定期路線（釧路—成田）就航があったものの、バードウォッチング等の特定目的観光客が減少するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大が影響し、圏域では前年度比46.9%減となりました。 |

<圏域別観光入込客数（延べ人数）>

| 圏域 | 観光入込客数 | 前年度比 | 増減数 | 構成比 |
|-------|---------|--------|----------|--------|
| 道央 | 4,272万人 | ▲45.9% | ▲3,622万人 | 52.7% |
| 道南 | 794万人 | ▲39.9% | ▲528万人 | 9.8% |
| 道北 | 1,219万人 | ▲46.1% | ▲1,041万人 | 15.0% |
| オホーツク | 578万人 | ▲34.0% | ▲297万人 | 7.1% |
| 十勝 | 707万人 | ▲31.1% | ▲320万人 | 8.7% |
| 釧路・根室 | 537万人 | ▲46.9% | ▲474万人 | 6.6% |
| 合計 | 8,106万人 | ▲43.7% | ▲6,282万人 | 100.0% |

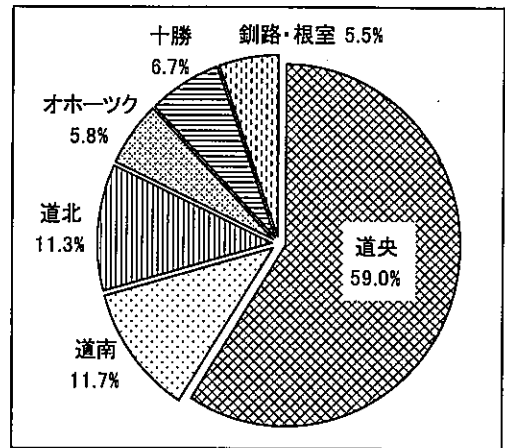
※各数値は、千人単位で四捨五入しているため合計が合致しない場合があります。



〈圏域別宿泊客延べ数〉

| 圏域 | 宿泊客延数 | 前年度比 | 増減数 | 構成比 |
|-------|----------|--------|-----------|--------|
| 道央 | 1,080万人泊 | ▲49.9% | ▲1,077万人泊 | 59.0% |
| 道南 | 214万人泊 | ▲51.5% | ▲227万人泊 | 11.7% |
| 道北 | 207万人泊 | ▲52.2% | ▲227万人泊 | 11.3% |
| オホーツク | 106万人泊 | ▲40.1% | ▲71万人泊 | 5.8% |
| 十勝 | 122万人泊 | ▲42.1% | ▲88万人泊 | 6.7% |
| 釧路・根室 | 101万人泊 | ▲50.1% | ▲102万人泊 | 5.5% |
| 全道 | 1,830万人泊 | ▲49.5% | ▲1,791万人泊 | 100.0% |

※各数値は、千人単位で四捨五入しているため合計が合致しない場合があります。



3 市町村別

観光入込客数を市町村別で見ると、札幌市が571万人（前年度比▲62.6%）で最も多く、次いで、函館市310万人（同▲42.2%）、小樽市260万人（同▲62.9%）、以下釧路市、白老町、喜茂別町の順となっています。

一方、宿泊客延べ数で見ると、札幌市が728万人泊（前年度比▲47.9%）で最も多く、次いで、函館市180万人泊（同▲52.8%）、帯広市77万人泊（同▲35.7%）、以下、釧路市、北見市、旭川市の順となっています。

〈観光入込客数(実人数)の多い市町村〉

| 順位 | 市町村名 | 入込客数 | 前年度比 |
|----|------|-------|--------|
| 1 | 札幌市 | 571万人 | ▲62.6% |
| 2 | 函館市 | 310万人 | ▲42.2% |
| 3 | 小樽市 | 260万人 | ▲62.9% |
| 4 | 釧路市 | 246万人 | ▲53.6% |
| 5 | 白老町 | 177万人 | +11.1% |
| 6 | 喜茂別町 | 173万人 | ▲29.3% |
| 7 | 旭川市 | 170万人 | ▲66.5% |
| 8 | 石狩市 | 161万人 | ▲26.7% |
| 9 | 苫小牧市 | 142万人 | ▲36.1% |
| 10 | 千歳市 | 141万人 | ▲69.0% |
| 11 | 帯広市 | 141万人 | ▲50.1% |
| 12 | 江別市 | 136万人 | +14.4% |
| 13 | 美瑛町 | 130万人 | ▲46.5% |
| 14 | 恵庭市 | 126万人 | ▲9.1% |
| 15 | 七飯町 | 120万人 | ▲47.0% |
| 16 | 洞爺湖町 | 115万人 | ▲52.0% |
| 17 | 東川町 | 114万人 | 0.0% |
| 18 | 伊達市 | 112万人 | ▲31.1% |
| 19 | 登別市 | 107万人 | ▲67.1% |
| 20 | 富良野市 | 106万人 | ▲43.9% |

〈宿泊客延べ数の多い市町村〉

| 順位 | 市町村名 | 宿泊客延べ数 | 前年度比 |
|----|------|--------|--------|
| 1 | 札幌市 | 728万人泊 | ▲47.9% |
| 2 | 函館市 | 180万人泊 | ▲52.8% |
| 3 | 帯広市 | 77万人泊 | ▲35.7% |
| 4 | 釧路市 | 67万人泊 | ▲54.5% |
| 5 | 北見市 | 41万人泊 | ▲36.2% |
| 6 | 旭川市 | 40万人泊 | ▲55.5% |
| 7 | 登別市 | 40万人泊 | ▲62.8% |
| 8 | 小樽市 | 39万人泊 | ▲58.2% |
| 9 | 二セコ町 | 30万人泊 | ▲36.2% |
| 10 | 洞爺湖町 | 25万人泊 | ▲61.2% |
| 11 | 網走市 | 25万人泊 | ▲41.3% |
| 12 | 占冠村 | 25万人泊 | ▲58.9% |
| 13 | 倶知安町 | 24万人泊 | ▲78.9% |
| 14 | 稚内市 | 24万人泊 | ▲34.3% |
| 15 | 室蘭市 | 24万人泊 | ▲27.1% |
| 16 | 富良野市 | 22万人泊 | ▲64.6% |
| 17 | 斜里町 | 22万人泊 | ▲50.7% |
| 18 | 音更町 | 22万人泊 | ▲48.0% |
| 19 | 千歳市 | 20万人泊 | ▲41.9% |
| 20 | 上川町 | 17万人泊 | ▲68.5% |

Ⅲ 観光消費額単価

道内16の観光地点において実施した聞き取り調査により算出した観光消費額単価は、下表のとおりとなっています。

＜令和2年度(2020年度) 観光消費額単価＞

(単位:円)

| 区 分 | | 日 帰 り | 宿 泊 | |
|-----------------------|-------|---------|-------------------|--------------------|
| 第1 四半期 (4~6月) | 道 内 客 | 観光 | 5,489 (6,783) | 27,885 (24,663) |
| | | ビジネス兼観光 | 4,316 (5,723) | 24,538 (23,373) |
| | 道 外 客 | 観光 | 17,226 (27,592) | 59,567 (105,710) |
| | | ビジネス兼観光 | 5,532 (6,096) | 80,395 (77,967) |
| | 外 国 人 | 観光 | — (8,013) | — (152,929) |
| | | ビジネス兼観光 | — (7,422) | — (112,222) |
| 第2 四半期 (7~9月) | 道 内 客 | 観光 | 5,697 (4,268) | 30,525 (23,046) |
| | | ビジネス兼観光 | 3,114 (4,842) | 24,410 (24,011) |
| | 道 外 客 | 観光 | 20,250 (30,000) | 95,194 (99,685) |
| | | ビジネス兼観光 | 5,588 (6,568) | 57,339 (36,678) |
| | 外 国 人 | 観光 | — (7,711) | — (152,292) |
| | | ビジネス兼観光 | — (10,131) | — (271,458) |
| 第3 四半期 (10~12月) | 道 内 客 | 観光 | 4,350 (5,277) | 29,390 (20,220) |
| | | ビジネス兼観光 | 6,973 (4,962) | 28,011 (29,801) |
| | 道 外 客 | 観光 | 21,745 (27,712) | 74,947 (74,881) |
| | | ビジネス兼観光 | 5,823 (6,652) | 76,736 (68,862) |
| | 外 国 人 | 観光 | — (8,308) | — (147,067) |
| | | ビジネス兼観光 | — (7,305) | — (78,279) |
| 第4 四半期 (1~3月) | 道 内 客 | 観光 | 4,409 (5,278) | 22,875 (28,895) |
| | | ビジネス兼観光 | 4,596 (4,434) | 32,022 (24,799) |
| | 道 外 客 | 観光 | 10,581 (11,847) | 49,820 (78,308) |
| | | ビジネス兼観光 | 5,800 (6,650) | 48,858 (126,326) |
| | 外 国 人 | 観光 | — (5,853) | — (148,972) |
| | | ビジネス兼観光 | — (31,367) | — (70,091) |

※ () 内の数値は、前年度の単価です。

道内容、道外客、外国人客の「ビジネス兼観光」及び外国人の日帰りの単価は、観光庁から提供された値を掲載しています。

なお、外国人客につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は本調査未実施のため、「—」としております。

北海道観光入込客数調査報告書 [令和2年度 (2020年度)]

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.html>

令和3年(2021年)9月

北海道経済部観光局観光振興課(観光企画)

札幌市中央区北3条西6丁目

電話番号(代表) 011-231-4111 内線 26-586

(直通) 011-206-6596

FAX番号(直通) 011-232-4120
